

山日

3/2

都留文大 3/2 山日 教授ら労働委に申し立てへ 「学部改編で排除不当」

都留文科大で来年4月に予定されている学部改編で、大
学側が教授と准教授の男性計
3人を新学科に移籍させない
のは不当として、山梨自治
体一般労働組合が2日にも、
県労働委員会に不当労働行為
の救済を申し立てたことが1
日関係者への取材で分かった。
3人は同大の教職員でつく
る労組で現職、元職の書記長。
「大学側の意に沿わない発言
ならしてきたため、学部改
編を機に一方的に排除され
た」としている。

教授や山梨自治体一般労組
によると、3人は改編対象の
文学部社会科学科に所属してい
るが、大学側が作成した資料
には、新設される教養学部地
域社会科学科の専任教員として
氏名が記載されていないなかつた
という。3人は専任教員にな
らなかつた場合、ゼミや専門
の授業がなくなり、大学教員
として最も重要な教育の場が
奪われるとしている。
3人のうち、50代の教授は
「学科改編や退職金の減額問
題などで先頭に立って執行部

と対立した。ほかの全ての教
員が移籍するのに、3人には
意向の確認すらない対応は不
当だ」と話した。

同大事務局は取材に、3人
が移籍しないことを認めた上
で「学科の改編に伴い新たに
カリキュラムを作成したとご
ろ、3人が担当すべき授業が
なかった。意図的に排除した
訳ではない」と説明。3人の処
遇については「給与面などで
の不利は生じないが、配属
先は未定」とした。

〈渡辺浩人、駒田明大〉

3/3

学部改編で排除「不当」

都留文大の教授ら 県労働委に申し立て

都留文科大で来年4月に予
定されている学部改編で、大
学側が40、50代の教授と准教
授の男性計3人を新学科に移
籍させないのは不当だとし
て、山梨自治体一般労働組合
が2日、県労働委員会に不当
労働行為の救済を申し立て
た。県労働委は申し立てを受理
し、関係者から事情を聴くな
どの調査を始める。

同労組によると、3人は現
在、改編対象の文学部社会学
科に所属。だが、大学側が作
成した資料では新設される教
養学部地域社会科学科の専任教
員として氏名が記載されてい
なかつた。

3人のうち50代の教授は同
日の会見で「3人を排除しよ
うとする大学側の意図がうか
がえる。耐えがたい苦痛だ」と主張。労組は申し立てで、
教授らの新学科への移籍や大
学側が誠意を持って団体交渉
に応じることを求めた。

同大総務課は取材に「申し
立ての内容を精査し、対応を
検討したい」としている。